

選択する未来2.0 中間報告 概要

今起こりつつある変化を後戻りさせず、10年分の変革を一気に進める。この数年の取組が未来を左右、今が選択の時。

コロナショックがもたらした意識・行動の変化と明らかになった課題

テレワークで満員電車に乗らずに快適。今後も続けたい。

在宅で家族との時間が増えた。家事の分担も変わり、子育ての喜びと大変さも実感。

首都圏はリスクが高いので、地方での就職を希望。

これを機に副業、新しいビジネスにチャレンジした。

オンライン教育が便利だが、うちの学校は対応していない。

行政手続をオンラインでしたいのに使いづらい。

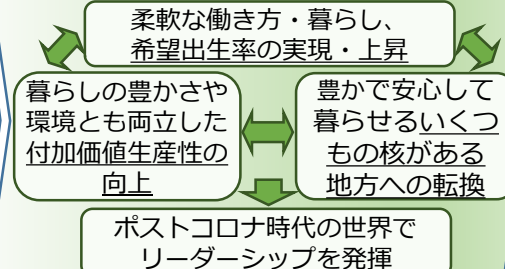
この数年で必要となる集中的な取組

- 教育、企業・社会の仕組みや慣行の変革
- デジタル化・リモート化の推進
- 人的投資等の無形資産への投資拡大
- 就職等の包摂的支援で格差拡大防止
- 多様性を尊び、変化を取り入れる**

選択すべき未来「新たな日常（ニューノーマル）」

- 創造力を持ち合わせた多様な人材がイノベーションを起こす、変化を取り入れ、失敗への許容力の高い社会
- 自由度の高い働き方や暮らし、WLBを実現して豊かさを感じる社会
- デジタル技術の活用により、効率性、利便性、安心を皆が享受できる社会
- 人への投資、十分な所得再分配機能、セーフティネットが提供される包摂的な社会
- 人との交流やつながり、支え合いの価値を大切にする社会
- 貿易・投資の基盤を支え、そのメリットを享受する社会

長期的な展望



選択すべき未来の実現に向けた主な方策<Howを磨くこと>

加速すべき社会横断的取組

規制・慣行を官民で早急に見直し



徹底したデジタル化の推進、デジタルニューディール



多様性の尊重を念頭に教育・働き方・社会保障・税を総合的・整合的に見直し。多様な人材を支えるセーフティネット



社会的連帯等を通じた包摂的な支援。地域における人の交流等の充実



新たな国際協力のあり方の構築、SDGs等のグローバルな課題への対応にリーダーシップを発揮



選択する未来1.0が掲げた課題に対応 + 新たな変化に即応した改革

個々人が多様な働き方の選択肢の下で活躍、仕事と子育てを両立

- 若者に安心と自信を
若者のキャリアアップ支援、年収300万円の壁を打破、「1学生1起業」「若者の副業・起業」、ソーシャルブリッジ型セーフティネットの強化、100億円を目指しSIBを拡充
- 「標準家族主義」から脱却、男女がともにWLB実現
育休の柔軟化やインセンティブ等で男性全員が育休を取得、L字カーブの解消（女性の正規職員化支援等）、女性正規雇用率（年齢階層別）の開示、多子世帯支援の充実
- ミドル層の潜在能力発揮、企業から自立した存在に
兼業・副業・複業の推進、リカレント教育の充実、40歳目安のキャリアの棚卸・相談の支援等

デジタル活用、AI×ものづくり、無形資産への投資で創造力を発揮

- 変化に対応でき、創造力・課題解決力ある人材の育成、人的投資の拡大
学びのあり方を根本から見直し、ジュニアインターン等の教育の個別最適化や外部人材活用の推進、博士号取得者の育成・活躍
- 意欲ある中小企業の成長を支援
新たなチャレンジ支援（デジタル化・自動化等）、人材育成支援、大企業人材と中小企業との人材マッチング、Hidden Champion育成
- 人の能力を活かす組織への変革：脱年功序列と多様性の確保
コーポレートガバナンス改革、高度人材の活躍促進、女性のキャリアアップ支援、リモートワーク推進等

多核連携、豊かさを感じられ、リスクが小さく共に支えあう暮らしができる地域

- 多核連携の核となるスマートシティの全国展開
政令市や中核市を中心にスマートシティを形成
- 地方発の特色ある企業の創出
高専等の地域資源活用、AI×ものづくり、首都圏ミドル人材の活用
- 地域を担う人材の育成
理工系女子をはじめSTEAM人材の育成強化、大学間での単位互換拡充
- 全ての世代を引きつける地方圏へ
中心市街地ににぎわいがあるまちづくり、首都圏人材の兼業・副業、再生エネルギー・グリーンボンド、二地域居住・二地域就労支援等

できることは直ちに着手・時間を要する課題についても5年以内に集中実施—コロナ後の不透明要因に留意しつつ、実行計画を今後半年で作成。